学校番号	T0301

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅱa	単位数	２単位	年次	３～４年次
使用教科書	「新　高校の数学Ⅱ」　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・２年生までの数学Ⅰを復習しながら、三角比、三角関数、指数関数・対数関数について学習します。また、社会生活において数学が活用されている場面や身近な事象を数理的に考察する技能を身につけます。
・わからないことはすぐに授業担当者に質問をしても構いません。わからないことをそのままにしておくことはやめましょう。
・授業に出席することが基本です。欠席が多いと授業内容を理解することが難しくなります。
・定期テストは授業内容を中心に出題されます。
・プリント中心に学習しますが、教科書を使うときもあるので、教科書は忘れずに持ってきて下さい。

2　学習の到達目標

三角比、三角関数、指数関数・対数関数についての基礎的な知識や技能を習得します。
また、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにします。また、社会との結びつきを考えさす。さらに、それらを活用する態度を身に付けることを目標とします。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	三角関数、指数関数、対数関数における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。また、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、三角関数数、指数関数、対数関数における問題解決の結果や過程を考察し、判断することができる。	三角関数、対数関数、１次不等式の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。また、振り返りを行うことで、考察をさらに深めることができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)

前期	三角関数	三角比 一般角 三角関数 三角関数の相互関係 三角関数の性質 三角関数のグラフ 加法定理 いろいろな公式	a：三角比，一般角、三角関数が理解できる。三角関数の相互関係を理解し，その計算ができる。三角関数の性質を理解し，今までのことを利用して計算することができる。加法定理について理解している。いろいろな公式を利用することができる。る。 b：三角関数の性質を用いればいろいろな三角関数の応用必ずできることを理解している。 c：直角三角形において，正弦・余弦・正接から２年で学習した三角比ことを積極的に三角関数の学習に取り組んでいる。	定期考査	定期考査 考察 プリント	授業 プリント 授業の振り返り
後期	指数関数	指数法則 指数の拡張① 累乗根 指数の拡張2 指数関数のグラフ	a：指数法則を利用し計算ができているまた，指数の拡張、累乗根を理解している。指数関数を理解しグラフが書ける。 b：　身近な問題を指数に帰着させることができ，問題を解くことができる。 c：艇が１より大きいときと小さいときとの違いによる，共通点や相違点を見出そうとする。	定期考査	定期考査 考察 プリント	授業 プリント 授業の振り返り
	対数関数	対数 対数の性質 対数関数のグラフ 常用対数	a：対数とは何かを理解している。また、対数と指数との関係を理解している。対数の性質および対数・指数との関係を利用してグラフを書くことができる b：対数と指数の共通点および相違点を考えることができている。 c：対数と指数のそれぞれ何に対して利用しているか理解しようとしている。常用対数の利用性を考えている。	定期考査	定期考査 考察 プリント査	授業 プリント 授業の振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度